

# 寿町総合労働福祉会館再整備基本計画(概要版)

## 1 計画目的

寿町総合労働福祉会館（以下「会館」という）は、寿地区において昭和 49 年に開設した、福祉施設等と市営住宅を包含した総合的施設であり、地域住民の生活環境及び福祉の向上等に重要な役割を果たしています。当会館について今般、耐震対策として再整備を行いますが、再整備にあたっては、現在及び今後の地区のニーズに応える施設とする必要があります。

当基本計画は、再整備後の会館に求められる機能の検討及び今後の基本設計・実施設計に際して必要となる事項について、方向性を定めるものとします。

## 2 寿地区及び寿町総合労働福祉会館の現状と課題

### (1) 寿地区の現状

かつては日雇い労働者のまちでしたが、現在は単身・男性・高齢者、生活保護受給者が主な居住者である、“福祉のニーズの高いまち”となっています。

寿地区の人口動態が現状のまま推移した場合、高齢化はさらに進行し、福祉ニーズの高いまちとしての性格がより強くなることが予測されています。

### (2) 寿町総合労働福祉会館の概要

現在の会館には、診療所・浴場・娛樂室・図書室などがあり、地域住民の医療・衛生及び憩いの場となるなど、福祉の向上に寄与しています。また広場では毎月のように様々なイベントが行われ、地域住民同士の交流が進められています。

### (3) 寿地区及び会館の課題

前項に示した現状や会館の役割を踏まえ、将来のまちのあり方や会館再整備を検討するに際して、以下のような課題が考えられます。

- ア 地域住民の医療・生活衛生及び憩いの場となっている会館の現状機能のうち、今後も必要となるものを継続するとともに、高齢者・障害者等にも配慮した環境を整える必要がある。
- イ 就労支援や健康づくり、介護予防支援等のサービスを提供していく機能が不可欠である一方で、住民がサービスの受け手となるだけでなく、自ら社会参加できる力を呼び戻し、又は生きる活力を生み出せる新たな支援の仕組みが必要となる。
- ウ 将来、来街者が増え、まちのイメージも変わっていくために、地区外に発信していける新たな支援サービスを展開する拠点が必要となる。

これらの課題検討に当たっては、地域住民との意見交換も含めたニーズ把握を行いながら、まちに緩やかな変化をもたらすための検討を行う必要があります。

### 3 会館再整備の基本方針

#### (1) 寿地区のまちの方向性

前項までに記した寿地区の変化、また、将来的なまちの変化まで踏まえた長期的な視点での施設計画が重要になります。

このため、寿地区におけるまちの方向性を次のように想定し、計画を進めます。なお、この方向性については、地域の意見も取り入れながら決定していく必要があります。

##### <寿地区のまちの方向性>

『高齢者をはじめ誰もが安全・安心に住み、お互いに支え合いながら交流しやすい開かれたまちづくりを緩やかに進めていく』

また、このまちの方向性から、将来的に次のようなまちの姿が想定されます。会館再整備においては、このまちの姿を実現していくために必要な役割から機能検討を行います。

ア 住民が様々な活動に能動的に参加し、自立が促進されるまち

イ 相互に生活を支える機能があるまち

ウ 地域住民、福祉保健活動団体、事業者のネットワークが育まれるまち

エ 誰もが気軽に訪れ、人々が交流できるまち

#### (2) 再整備後の会館に求められる役割

地区の現状やまちの方向性、地域ニーズから、再整備後の会館に求められる役割を以下のように整理します。

ア 地域住民の生活環境向上

イ 介護予防・健康増進

ウ 民間活力の活性化

エ 自立支援

#### (3) 基本コンセプト

再整備後の会館は、健康づくりや介護予防、自立支援及び将来の寿地区のまちづくりの拠点としての位置付けを検討しています。この位置付けと再整備後の会館に求められる役割をもとに、会館再整備の基本コンセプトを下記のように定めます。

##### ① ラウンジを中心とした地域交流スペースづくり

ラウンジ、屋外広場、機能訓練・運動スペース、作業室を整備し、地域交流や自立促進に繋がります。

##### ② 地域で活動する事業者や団体をつなぐスペースづくり

活動・交流スペース、共同事務スペースを整備し、地区内での事業者等の活動を活性化させます。

##### ③ 地域住民の健康を支えるスペースづくり

健康コーディネート室、診療所、バリアフリーの浴場を整備し、健康づくり・介護予防などの取り組みを進めます。

##### ④ 地域の活性化に寄与する世帯向けの住まい

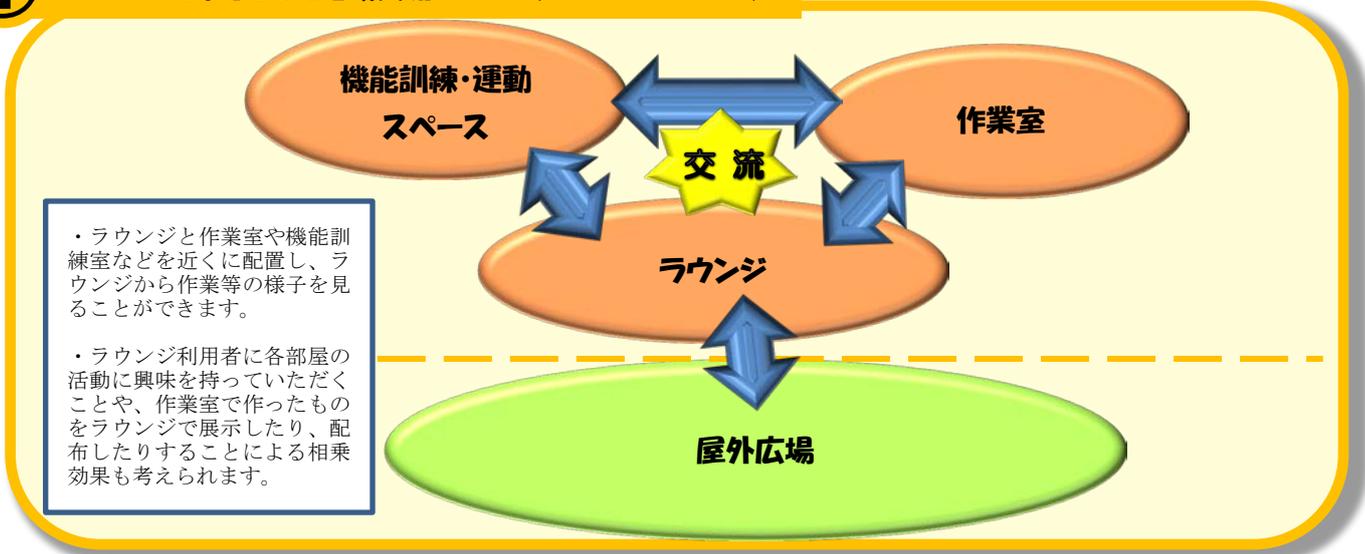
現在入居している世帯向けの住戸を整備するとともに、新規でファミリー世帯向けの住戸を整備します。

## 4 各機能の整備計画

ここでは福祉機能各部屋の配置を検討する前提として、“目指すまちの姿”の具体化に向けた各部屋の使い方と部屋同士の連携イメージを下記のように検討します。

### イメージ図

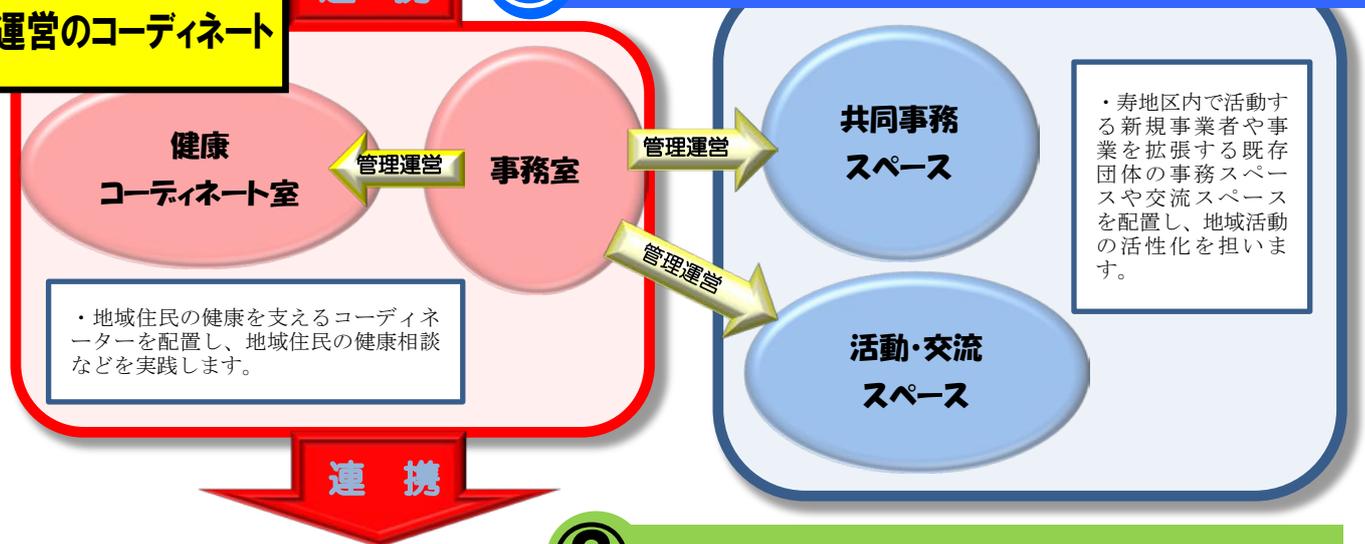
#### ① ラウンジを中心とした地域交流スペース(コミュニティゾーン)



#### 会館運営のコーディネート

### 連携

#### ② 地域で活動する事業者や団体をつなぐスペース(ネットワークゾーン)

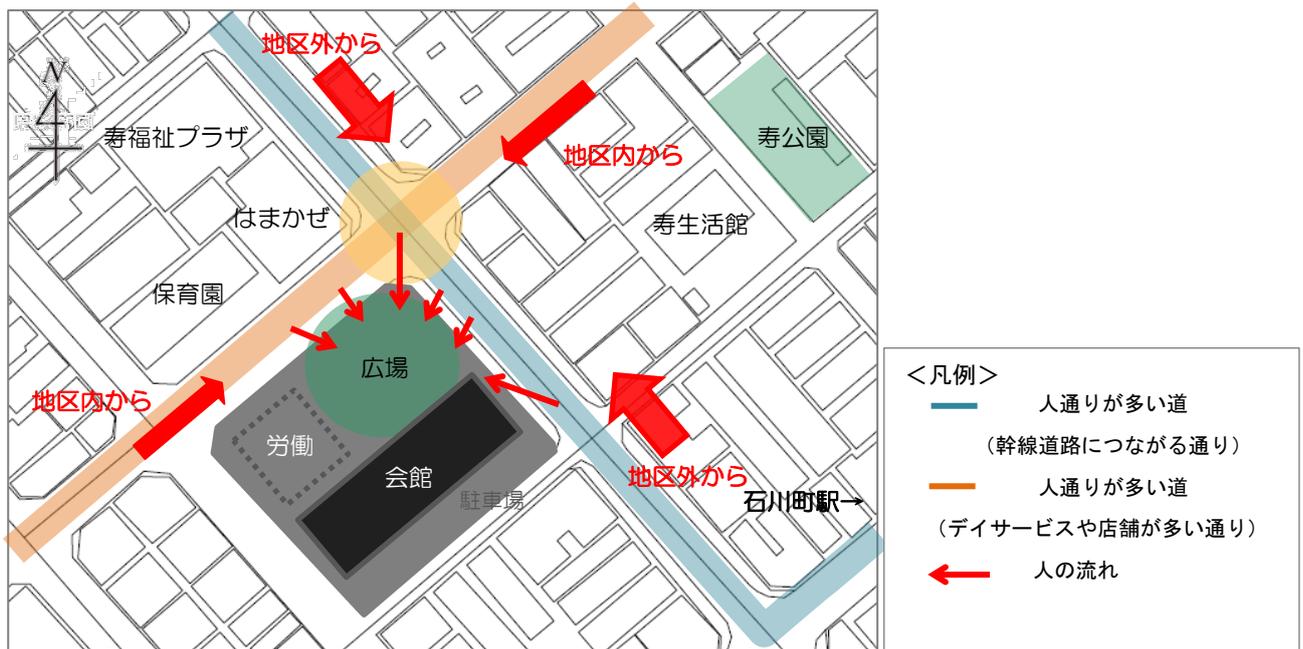


#### ③ 地域住民の健康を支えるスペース(ヘルスライフゾーン)



## 5 配置計画

### (1) 敷地配置計画



※労働機能（国・県所管）を再整備するか否かについては、各所管で検討中です。

※労働機能が再整備される場合は、会館とは分棟とします。

※別途行う、寿地区の駐輪対策の検討結果も考慮した計画とします。

### (2) 福祉施設・市営住宅の配置計画

気軽に訪れやすいラウンジを一階に配置し、広場と一体的に利用できる計画とします。また、それが実現できる構成として合築を採用します。

## 6 事業手法

新しい会館は現在と将来の寿地区の姿を見据え、様々な事業者や支援団体等との協働により、変化に柔軟に対応した運営を行う必要があります。そのため、会館再整備は直接発注方式で行います。

## 7 概算事業費・事業スケジュール

### (1) 概算事業費（単位：百万円） ※詳細は各年度の予算査定で決定します

	事業費全体	うち工事費
福祉施設(約 2,200 m <sup>2</sup> )	約 1,002	約 796
市営住宅(約 4,750 m <sup>2</sup> )	約 1,523	約 1,140
総 額	約 2,525	約 1,936

延床面積 6,950 m<sup>2</sup>、鉄筋コンクリート造

### (2) 事業スケジュール ※詳細は今後変更となる可能性があります

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
会館再整備	基本設計	実施設計	解体	新築工事	竣工
仮設営業(※)		仮設工事	仮設営業		

(※)機能の一部は松影公園予定地に仮設施設を建設し、診療所等必要な機能を寿地区内で継続します。